

平成30年度学力向上推進（ふくぎ じんぶんプラン）の取り組み報告

園名 金城こども園

4 充実している 3 おおむね充実している 2 あまり充実していない 1 充実していない (○印)

	具体的取組	評価	考 察
1 園児一人一人が 大切にされ、良さを 可能性を認め合う 学級経営	○一人一人を大切にされた学級 経営の充実が図れた。	3.8	園児個別の長所を見つけ、それぞれがその尊重しあう 学級経営が出来ている。
	○教師や友達と関わり、認め合 う学級経営が図れた。	3.6	保育教諭の関りを基本に、友達との関りが深められる ように取り組めた。
2 「確かな学力」の向上	○遊びを通して主体的な活動 を促す環境構成や援助の工 夫をした。	3.3	身近な環境へ様々な興味・関心が広がり、それが遊び の中で発展するように工夫した。
	○言葉による伝え合いや文字 に関する興味関心を育む援 助の工夫ができた。	3.6	お集りなどの際に文字を使い伝える。また、個人の 思いが発表できる環境づくりの工夫をした。
	○身近な人に親しみ、かかわり を深め愛情や信頼関係を育 む援助の工夫ができた。	3.5	異年齢活動や食育活動などクラス外の園児や教諭、ま た保育教諭以外の職員と一緒に活動を行った。
	○健康・安全な生活に必要な習 慣や態度を身につくような 援助の工夫ができた	3.6	遊びや絵本を通して伝え、職員が手本になることで、 マナーやルールを丁寧に伝え、園児自ら意識して取り 組む工夫をした。
3 基本的な生活習慣 の形成	○「食べて、動いて、よく寝よ う」の取組の工夫をした。	3.5	給食時に体の成り立ちを伝えることで、意欲的に食べ るようになった。また、運動遊び等も取り組めた。
	○家庭と連携し、望ましい生活 リズムの確立を図った。	3	園だより・クラスだよりを通じ、家庭との連携を図り、 個人面談等で生活指導を行った。
	○規範意識やマナーを身に つける援助の工夫ができた。	3.5	保育教諭が見本となったり、表示したりして意識づけ をし、絵本などを通じ大切さを伝えた。
	○「食」への関心を高める保育 の工夫を図った。	3.5	栽培した野菜などを厨房で調理したり、園児自ら調 理したりして食材に興味を持てるようにした。 また、全園児での給食の実施を行っている。
4 学力向上マネジメント	○計画的な園内研修を実施し、 保育に生かすことが出来た。	3.1	園内研修で、教育・保育計画の実践・振り返り・ 見直しの取り組みを行った。
	○PDCAサイクルを活用し、 日々の保育改善と安全管理 を行った。	3.6	日・週・月指導計画の反省見直し立案を繰り返し行 う。環境整備を行い安全な環境を保った。
	○保育記録をもとに、保育カン ファレンスを行う等、幼児理 解を深めることができた。	3.1	全体・年齢ごとに週案会議を行い取り組んだ。 また支援児関係者会議を共通理解した。
	○保育者同士による保育参観 を行い、保育の質の向上が図 られた。	3.3	意図的に主担任以外の教諭がクラスに入り、教育・ 保育について意見を出し合う。
総合 評価	14項目の平均：3.46	改善 課題と	職員が連携しあい、共通理解のもと年齢ごとに繋が りのある教育活動が出来つつある。保護者に対し て、教育保育への理解を深める必要がある。

